

競技・審判上の確認

競技委員長 石 崎 賢
審判委員長 川 崎 尚 子

1 競技規則について

- (1) 平成30年度公益財団法人日本バレーボール協会6人制競技規則により実施する。ただし、ネットの高さは男子2m43cm、女子2m24cmとする。本大会はすべて3セットマッチとし、ワンボール・システムとする。

なお、大会使用球は、男子：ミカサ製カラーボール「MVA300」

女子：モルテン製カラーボール「V5M5000」とする。

2 チーム構成について

- (1) チームの構成は、監督・コーチ・マネージャー各1名・選手18名以内とし、試合毎に12名の選手とリベロ・プレーヤー2名を構成メンバー表にエントリーする。
- (2) 大会申込書に記載された引率責任者・監督・コーチ・マネージャーの変更は、代表者会議終了後、ただちに競技委員長に届けなければならない。
- (3) 各試合のエントリーは、第1試合は試合開始30分前、第2試合以降は、前の試合の第1セット終了までに指定の構成メンバー表に記入し、本部席まで提出する。試合が連続する場合は、試合終了後すみやかに提出する。尚、リベロ・プレーヤーは、構成メンバー表の「選手名」欄と「リベロ・プレーヤー」欄の両方に記入する。
- (4) 構成メンバーとは試合毎にエントリーされたメンバーである。

3 競技参加者について

- (1) 監督・コーチ・マネージャー各1名、選手14名以内とする。監督・コーチは校長が認めた教職員とする。ただし、監督・コーチが校長の認めた外部指導者の場合、高体連バレーボール専門部長の承認を得た者でなければならない。またマネージャーは当該校の教職員もしくは生徒とする。
- (2) 監督・コーチ・マネージャーは、それぞれ左胸にマークをつけなければならない。
- (3) 監督は記録席に最も近い位置でチームベンチに座る。また、他のメンバー同様、コート上の選手に指示を与えてもよい。試合を妨げない、または遅延させない限り、アタックラインの延長戦からウォームアップエリアまでの、自チームベンチ前のフリーゾーン内で、立ちながらも歩きながらも指示を出すことができる。
- (4) ベンチスタッフは、ネクタイ及びジャケットを着用するか、統一されたウェアを着用する。マネージャーが生徒の場合は、制服または選手ウェアと同じジャージが望ましい。

4 コートワイピングについて

- (1) コート内の選手が、ラリー終了からサービス許可までの間に行う。ただし、構成メンバー以外の登録されたメンバーから最大2名までクイック・モップとしてベンチの両側に配置できる。1名の場合は監督席と記録席の間に配置しワイピングを迅速に行う。服装は、試合用ユニフォーム以外の統一された服装とする。クイック・モップは、モッピングが目的なので応援等はできない。
- (2) タイムアウト中、およびセット間については、クイック・モップが行い、クイック・モップがない場合は、競技者あるいはベンチスタッフがモップを使って行っても良い。

5 リベロ・プレーヤーについて

- (1) リベロ・プレーヤーは、チームキャプテンにもゲームキャプテンにもなることができない。
- (2) リベロ・プレーヤーは、チームの他の選手と、主要な部分の色が異なるユニフォームを着用しなければならない。ユニフォームの色は、チームの他の選手とは明らかに対照的でなければならない。対照的な色でない場合、競技委員・審判委員の判断で、ベストを着用することがある。

- (3) 本大会は、アシスタント・スコアラーを参加チームも担当するので、交代する時はサイドライン上で一度、対になり立ち止まる。また、タイムアウト後は、前ラリーの状態に戻り、その後に交代する。
- (4) 正規の競技者とリベロ競技者について
- ①構成メンバーが1 2名以内の場合、リベロ競技者の人数は0名・1名・2名のいずれでも良い。
 - ②構成メンバーが1 3名及び1 4名の場合、リベロ競技者の人数は2名でなければならない。

6 試合開始時刻について

- (1) 1日目の第1試合は14:00、2日目以降の第1試合は9:15と定めているので、11分前にプロトコールを開始する。2試合目は、前の試合が終了してから10分後にプロトコールを開始する。3日目は、コート設営が終了次第プロトコールを開始する。
- (2) 同一チームが連続試合になる場合は、前の試合が終了してから20分後にプロトコールを開始する。

7 服装について

- (1) ユニフォーム・ナンバーは、胸部の高さが最小限15cm、背部の高さが最小限20cmなければならない。ナンバーの色と明るさはジャージと対照的でなければならない。
- (2) ソックスは、くるぶしが完全に隠れるものを着用しなければならない。ハイカットシューズの場合は、シューズから出るソックスを着用すること。
- (3) 金属が出ているサポーターを着用することはできない。また、ユニフォームの上にサポーターを着用してはならない。(腰部サポーターはユニフォームの中に着用すること。足首用サポーターはソックスの上に着用することができる。)
- (4) 襟元や袖口等、ユニフォームからはみ出すアンダーウェア・パワーパンツを着用することはできない。

8 試合前の練習について

- (1) 第1試合の公式練習前のウォーミング・アップについて、第1試合のチームが優先的に各コートを使用する。第2試合以降のチームは、コート外でウォーミング・アップ等を行う。また、プロトコール10分前より、各コートの使用を第1試合のみとする。
- (2) 第2試合以降は、公式練習前の10分間に、ウォーミング・アップでネット・ボールを使うことができる。ただし、近接したコートにボールが入らないようにボールキーパーを配置する。
- (3) 公式練習には構成メンバー以外の登録メンバーも、ボールキーパー(ユニフォーム以外のものを着用する)として練習に参加することができる。**※ボールキーパーはコート外でボールを拾うことのみが許される。**
- (4) 公式練習を両チームが別々に行う場合、ネットを使用しているチームの妨げにならないよう、もう一方のチームはエンドライン後方のフリーゾーンまたは自チームベンチ前にてウォームアップを行う。

9 その他

- (1) 本大会の補助役員は、基本、参加チームにおいて、アシスタント・スコアラー2名、ラインジャッジ4名、点示2名の計8名で行う。なお、各日第1試合と最終日については、当番地区でおこなう。また、試合によって当番地区で補助役員を行うこともある。
- (2) 1日目の函館アリーナの開場時刻は午前9時30分とし、午前10時から午前11時30分までを練習時間として設定する。(メインアリーナのみ、Aコート男子ネット、Bコートネットなし、Cコート女子ネット)
2日目、3日目の各会場の開場時刻は午前8時で、各会場での練習開始時刻は8時15分とする。
- (3) 各チームの応援は、他の観戦者の妨げにならないよう配慮すること。
- (4) チームプラカードは、最初と最後の挨拶の際は、チームキャプテンが持つ。チェンジコートの際は、各チームで移動すること。試合終了後は、大会本部へ返却すること。
- (5) 試合中ボールケース等は、アップゾーン外まで下げること。
- (6) 閉会式は行わず、3位決定戦、決勝戦終了後、それぞれコート表彰を行う。